

風水害タイムライン学習

《幡豆中の生徒の感想より》

- ・ いつでも確認できるようにして家族みんなが安全に避難できるようにしたい
- ・ 冷静な判断をするためにも家族の中で役割分担を決めておくようにしたい
- ・ 各自の役割が決まっていなことが心配なので、家族と情報共有したい
- ・ 安心して安全な防災をできるようにしたい

【モデル地域での取組⑤】

災害クッキング講座

名古屋文化短期大学
山田実加 教授



山田実加教授



調理実習の様子

令和5年10月30日 幡豆中1・2年生
実践委員



完成後に実食



和風の蒸しケーキ



レスキューフーズ

災害クッキング講座

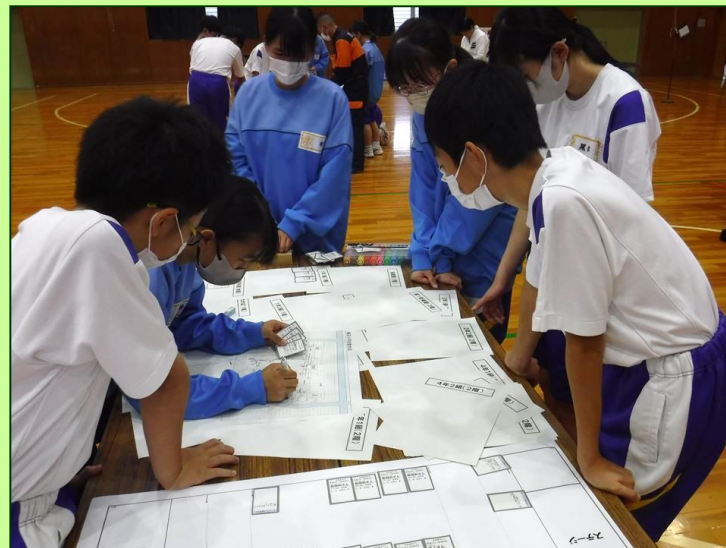
名古屋文化短期大学
山田実加 教授

≪ 幡豆中の生徒の感想より ≫

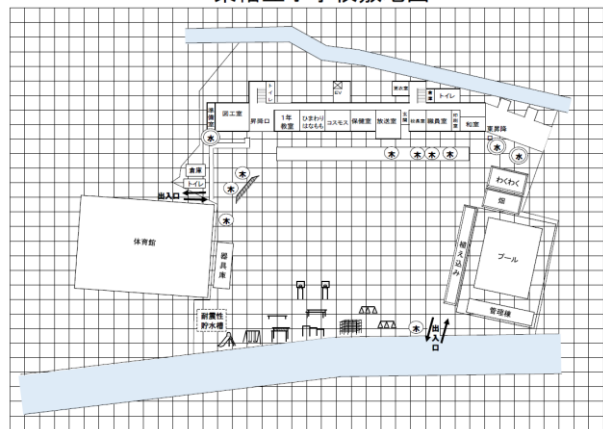
- ・ 簡単に作れて、災害の時でも作りやすい
- ・ 栄養バランスのとれた災害食を食べたほうが良い
- ・ 災害食は日常で食べているものと似ているため安心できる
- ・ ポリ袋を使い、包丁を使わず、手軽においしく食べられることを伝えたい

【モデル地域での取組⑥】

避難所運営ゲーム (HUG)



東幡豆小学校敷地図



82 世帯番号【21】

東池452 【東池1班】

とつぷり
突風さん

【男51歳】全壊

父、世帯主、妻

世帯主の父は心臓病あり。
妻はうつ病。

令和5年11月6日 幡豆中1年生
実践委員

避難所運営ゲーム（HUG）

≪幡豆中の生徒の感想より≫

- ・ 避難所運営はとても難しいと思った
- ・ 人それぞれにあった場所で過ごすには運営側の考えが必要
- ・ 一つの判断がとても大事
- ・ 日頃から災害が起こったときのことをいろいろ想定しておくことが大事

避難者を考慮した
より過ごしやすい避難所づくり

【モデル地域での取組⑦】

防災講座「救出救護技術」

西尾市消防本部
校区消防団



もくもくハウス



ロープ結索講座



搬送法講座

令和5年11月7日 幡豆中1年生
実践委員

【モデル地域での取組⑦】

防災講座「避難所簡易グッズ作り」

近藤ひろ子
防災教育アドバイザー



広告食器作り



広告食器作り



新聞紙スリッパ作り

令和5年11月7日 幡豆中1年生
実践委員



コップ・スリッパ

防災講座 「救出救護技術」 「避難所簡易グッズ作り」

≪幡豆中の生徒の感想より≫

- ・ 身の回りにあるものでこんなに簡単に代用ができることを知った
- ・ 簡易担架で運ぶときにその人の気持ちを考えてやれるといい
- ・ 災害のときや困ったときに役に立つ

発災時に「守る側」になるための
知識や技能を身につけた

【モデル地域での取組⑧】

モデル地域 小中合同防災学習



広告食器作り



搬送法講座



ロープ結索講座

「幡豆中1年生」から
「幡豆小4年生」へ

令和5年11月27日 幡豆中1年生
幡豆小4年生
東幡豆小6年生

【モデル地域での取組⑧】

モデル地域 小中合同防災学習



「幡豆中1年生」から
「東幡豆小6年生」へ

令和5年11月27日 幡豆中1年生
幡豆小4年生
東幡豆小6年生

モデル地域 小中合同防災学習

《幡豆小・東幡豆小の児童の感想より》

- ・ 災害が起きたときにやってもらわなくてやる方でしっかりできるようにする
- ・ 学んだことを覚えておいて、いざという時にすぐ動けるようにしておきたい
- ・ もし災害がおきたらすぐ担架を作って人を助けたい

少しずつ『助けられる人から助ける人』への意識の変化

モデル地域 小中合同防災学習

≪幡豆中の生徒の感想より≫

- ・小学生に教えることで理解が深まった
- ・自分たちだけでなく、まわりの子に教えていくことで広めることができる
- ・協力して行動できるように地区全体で防災への意識を高めていきたい

学んだことを発信し、協力することで防災力が強化される

【モデル地域での取組⑨】

防災学習を振り返って「学習発表会」



THE 防災 in HAZU

～いざというときどうする!?
わたしたちができること～

令和5年11月18日 幡豆小4年生

事前・事後アンケートより

Q あなたの家では、災害時のために、備蓄品（物資や食料）を準備してありますか？

	事業前		事業後
あ る	28%	➡	41%
な い	12%	➡	12%
わからない	60%	➡	47%

事前・事後アンケートより

Q あなたは家族と、地震などの自然災害について話し合うことがありますか？

	事業前		事業後
よくある	2%	➡	5%
たまにある	23%	➡	23%
ほとんどない	75%	➡	72%

事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	67%	86%
な い	33%	14%

スリッパを作る
コップを作る
避難所の手伝い
避難場所への誘導
声かけ

人を助ける
高齢者の補助
小さい子と遊ぶ
物資を運ぶ
食事を運ぶ

ロープ結索
ペットの避難
担架をつくる
など

事後アンケートより

《防災学習を振り返って》

- ・ 今まで自分にできることはあまりないと思っていたけど、たくさんあるとわかった
- ・ もし地震などが起きたら自分から行動していきたい
- ・ 僕たちの知っていることなどを地域に広めたいと感じた
- ・ 災害時、避難所で僕たち中学生は大きな力になることがわかった

「自分がやらなければ」という意識に変化 = 防災リーダー

本事業の成果

様々な活動を通して「守られる側から守る側へ」という意識を高め、児童生徒が災害時においても「自分のできごとをやっていきたい」という思いをもつことができた。



防災リーダーとして積極的に活動できる姿

児童生徒が地域の方と一緒に活動をしたり、児童生徒の学びを外部に発信したりすることで、モデル地域全体の防災意識を向上させることができた。

防災意識の向上と、学校・地域の連携強化

本事業が終了した後もモデル地域内の学校が防災教育を継続実践することができた。

本事業終了後も継続して実施

西尾市内の小中学校における防災学習



西尾市内の小中学校における防災学習

○危機管理課職員による防災講話

西尾市立花ノ木小学校

// 八ツ面小学校

// 鶴城小学校

// 西野町小学校

// 寺津小学校

// 福地北部小学校

// 室場小学校

// 吉田小学校

// 吉良中学校

校務主任会

西尾市初任者研修会

西尾市内の小中学校における防災学習



福地南部小 4年生

近藤ひろ子防災教育アドバイザーの防災講話



吉田小 5・6年生

津波浸水想定区域外まで徒歩避難訓練



吉田小 6年生

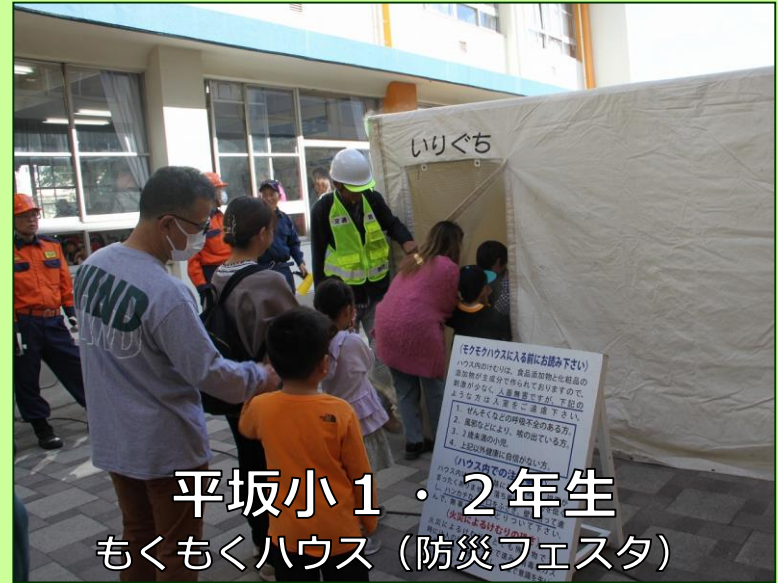
避難所設営訓練



吉田小 5年生

津波避難タワー見学

西尾市内の小中学校における防災学習



西尾市内の小中学校における防災学習



西尾市内の小中学校における防災学習



市内全域で
「防災教育」

寺津中1年生
防災グッズ作り
「防災活動」を
推進しています



幡豆中2年生
職場体験学習



一色中1年生
下校時避難訓練

今後の課題



学校・地域・行政の顔の見える関係づくり

共に活動する場や、災害時に備えた意見交換の場など、連携する場をいかに確保していくか。

防災教育の継続・発展

学校・地域の実情や、子どもたちの実態をとらえた上でより効果的な活動を検討していく必要がある。また、保護者・地域をこれまで以上に巻き込めるような活動を取り入れていく必要がある。さらに、津波浸水想定区域外の地域において、避難者を受け入れる体制づくりを進めていく必要がある。

教職員の研修

学校の立地状況や地域の実態により、災害発生時の対応は異なり、児童生徒への指導は学校独自の内容が求められる。そのため、教職員が災害に対する知識を得て、素早く適切に対応できる力を身に付けるとともに、児童生徒に効果的な指導を行うためのスキル向上の必要がある。



今後も、学校安全に係る取組を
さらに推進していきます！



ご清聴ありがとうございました

「西尾の抹茶」の耳



あんぜん



ちゅうい



きけん



令和5年度

学校安全総合支援事業 活動報告



守ろう、
支えよう、
大好きな故郷^{ふるさと}

西尾市 危機管理局 危機管理課
Crisis Management Section



ぼうさいくん